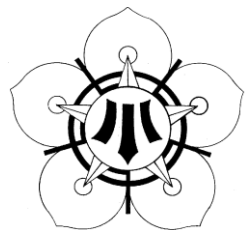


地域と家庭と学校が一つになって子供を育む…それが“チーム七小”です！



くさぶえ

福生第七小学校ホームページ

<http://fussa-7e.hs.plala.or.jp/>

福生市立福生第七小学校

令和4年度 学校だより

発行責任者

校長 山岸 史子

所在地

福生市北田園一丁目1番地1

令和 4年 6月 1日 発行

たくさんの支えの中で育まれる

副校長 中村 将行

木々の葉が成長し、学校が深い緑に包まれる季節となりました。青葉の間からたくさんの野鳥の声が聞こえてきます。ウグイスやツバメ、夜になるとアオバズクの「ホー ホー」という鳴き声が聞こえてきます。福生市の鳥であるシジュウカラの「ツピツピツピ」という声が毎日のように職員室まで聞こえてきます。小さい体からよくあんなに力強く響く声が出るものだと驚かされます。

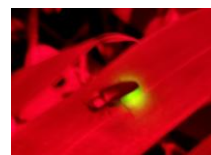


シジュウカラ
福生市 HP より

5月14日(土)に福生市のコミュニティスクール総会が行われました。市内の小中学校のコミュニティスクール(CS)委員、学校関係者(各校5名程度)が一堂に会し、代表校(今年度は四小と六小)の取組の発表を聴いたり、グループに分かれて情報共有をしたりしました。他校の取組やCS委員の思いを知ることができるとても貴重な機会でした。そこで感じたのは、地域や保護者の皆さんが学校を支え、教職員と教育活動を充実させ、未来を担う子どもたちを育てていきたいという強い思いでした。福生市にはこのような思いをもった方々が多くいることが分かり嬉しくなると共に、七小を支えてくださっている地域・保護者の皆さんに改めて感謝の思いをもちました。

5月28日(土)に「ホタル観察会」がありました。夜間であったため対象を3～6年としましたが、児童・保護者多くの参加がありました。

「わーきれい!」「本当に光っている!」このよう声がたくさんあがりました。「くさぶえ5月号」で第3学年のホタルの学習について詳しくお伝えしましたが、その学習を支えてくれるのがCS事業「七小ホタルプロジェクト」の皆さんです。CS委員や地域の方々が七小の子どもたちに本物のホタルを教材に学べるようにと、ホタルの育成や環境整備、観察会の運営など様々なことを行っています。これから第5学年の稲の学習が始まりますが、そこでもCS委員方々や地域・保護者の皆様からお力をお借りします。このように七小では多くの学習活動にCS委員の方々が関わっています。



5月29日撮影
自生のヘイケボタル



5月15日
ヤゴ救出大作戦

もう一つの七小の子どもたちを支えてくれる大きな存在として「七小PTA」があります。5月15日(日)に実施した「ヤゴ救出大作戦」、5月29日(日)「わくわくフェスタ」はPTA活動サークル主催のイベントでした。サークル活動以外にも「七小PTA」は子どもたちと学校のために様々な活動を行っています。



5月29日
わくわくフェスタ
春の花植え

コロナ禍においても、感染症対策を万全にして学びを止めず教育活動を推進していきます。ただ、心動かされ、子どもたちの学びに火をつけるような「本物体験」は教員の力だけでは難しいところがあります。地域・保護者の方々に支えられて、質の高い教育活動となります。今後とも本校の教育活動にご理解とご協力をお願いいたします。